



発行人

仙台市議会議員

青葉区

伊藤ゆうた

市民と未来のために 仙台市政報告

泉房穂前明石市長から所得制限なしの こども政策



「5つの無料化」を 仙台市でも!

兵庫県明石市を視察し、
退任前であった**泉房穂市長から明石市独自の子育て政策**のお話を伺いました。明石市の子育て政策は、**5つの無料化として18才までの医療費、第2子以降の保育料、中学校の給食費、公共施設の遊び場、おむつ定期便(0才児見守り訪問)**を実施し全国自治体の中で子育て政策のトップランナーを走っています。泉房穂前市長から直接「**リーダーが本気になれば、どの都市でも明石モデルの子育て政策が実現できる**」というお話をレクチャー頂きました。仙台市の子育て政策を大幅に拡充できるように提言に繋げていきます。

音楽ホール整備費高騰分約130億円で 出来る子育て政策とは

令和5年第1回定例会で、**約218億とされていた音楽ホール整備費について、約350億に高騰した試算**が示されました。音楽ホール建設費について、**増額分の約130億円**あれば様々な子育て支援が出来ることを質疑の中で確認しました。**音楽ホール整備費を圧縮し子育て支援に振り向けるべき**です。約130億円あれば、0歳～2歳の第2子保育料無償化が16年可能。市内小学5・6年生を対象とした塾代クーポン券事業も120年間可能です。物価高騰対策として**一定期間の学校給食費無償化や保育施設の副食品無償化も可能な額**です。郡市長は現状、否定的で「優先順位を判断した」と言いますが、大型プロジェクトの財源と見込まれる額の一部でも子育て政策に投入するべきと考えます。

新音楽ホール整備 増額分130億円

河北23.3.-3
「子育て支援充実できる」——市議
「財源内で優先順位判断」——市長

「建設費の増額分があれば、どんな子も子育て支援施設ができるのか。仙台市が整備する新音楽ホールと東日本大震災中心部メモリアル施設の複合施設の建設費が約100億円膨らむとする市の試算に対し、伊藤優太議員が2日の市議会予算等審査特別委員会で増額分できる子育て施策について市に説明を求めた。

市議 子供未来局は教育ハブチャームを新年度に実施できる予算を要求したが、財政高の基準から入るべきだった伊藤氏は建設費を圧縮し、子育て支援に予算振り向けるべきではないかと郡和子市長に迫った。郡市長は限られた財源の中で最大限の効果を得られるよう優先順位を判断した。今後の事業は社会情勢を踏まえて適切に判断したいと返答をかわした。

仙台市議会予算特別委で討論

2023年3月3日河北新報朝刊より引用

約**130億円**
でこんなに
こども
子育て支援

音楽ホール整備費

218億円

増額

132億円
増

350億円

- 学校給食費 無償化 約38億円
- 0歳～2歳の第2子保育料 無償化が16年可能
- 保育施設の副食費 無償化が21年間可能
- 市内小学5・6年生を対象とした塾代クーポン事業も120年可能



学校給食を無料に!!

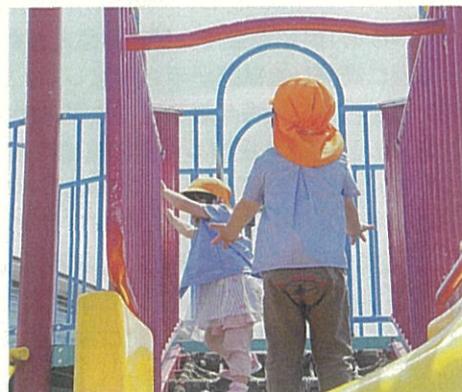


物価高等に対応する子育て世代への支援や所得制限なしの独自給付金、給食費無料化を求める緊急要望書を提出しました。子どもにとってかけがえのない大切な学校給食。小学校、中学校とも給食費を無料化へ舵を切る自治体が増えています。育ち盛り子どもたちに栄養バランスに優れた、安定した食事を提供するには、**保護者に給食費の負担を求めず、自治体や国の責任で給食を提供すべき**です。コロナ禍を経た雇用環境、そして止まらない円安からの物価高で子育て世代の経済的負担は増大しています。今、**仙台市においても必要なのは子育て世代へのダイレクトな支援**です。

子育て支援の拡充で保育料を無料に!!



緊急要望書の中では、**保育料の無料化も提言**しました。日本では人口減が進む今、少子化対策が大きな課題となっています。共働き世帯が増加する中、子育てに金銭的な負担が過度にかからないようにする為に新たな子育て支援が求められています。**不適切保育を根絶する**きめ細やかな行政指導や配置基準の見直しと共に**保育料を大胆に無償化**し、家庭負担を軽減し、本当の意味で「**子育てするなら仙台**」と言われる仙台市を目指すべきです。



改革を進めていきます!

詳しい一般質問や質疑は

仙台市議会インターネット議会中継

検索

発行会派 市民と未来のために 市議会会派室
仙台市青葉区国分町3-7-1 mail: info@itoyuta.com
090-7566-5159 (伊藤優太直通)